

平成22年度 第1回千葉県博物館協議会議事録

日 時 平成22年8月4日（水）13：30～16：00

場 所 千葉県立中央博物館 会議室

出席者

（委員）明石委員，秋田委員，鶴澤委員，大森委員，岡本委員，小野委員，
片山委員，川崎委員，栗原委員，齋藤委員，水島委員，茂木委員

（博物館）大熊美術館長，嘉村中央博物館長，石井現代産業科学館長，
三浦関宿城博物館長，江澤房総のむら館長，上野文化財課長

日 程

1 開 会

2 博物館あいさつ

3 文化財課長あいさつ

4 辞令・委嘱状交付

5 議長・副議長選出

6 報 告

平成22年度各博物館の事業について

7 議事

（1）平成22年度各博物館の地域振興について

（2）各博物館の入館者動向について

（3）その他

8 その他

9 閉 会

<館長あいさつ>

県立博物館・美術館は近年の財政状況の変化と行革による施策に伴い、博物館のあり方の見直しにより大変厳しい状況にある。平成20年度に上総博物館は、木更津市に移譲。平成21年度に安房博物館は館山市に移譲され、それぞれ地域に根ざした新しい博物館として活動を始めている。

平成22年1月「千葉県の教育を元気にする有識者会議」で千葉県教育基本政策が策定されその中で博物館・美術館について、数多く言及されている。とりわけ教育を元気にする3つのプロジェクトとして様々な提言がなされている。キャッチフレーズとして「ふれる」「かかわる」「つながる」という言葉は、博物館のいろいろな活動そのものを言うのではないかと思われる。事業計画にあるとおり博物館における「地域振興」「学校連携」等これらの事業が重要になってくる。県民のニーズに応え、件の文化の向上に役立つ博物館でありたいと思っている。

<文化財課長あいさつ>

平成19年度の協議会において「博物館における地域振興のあり方」ということで諮問をし答申をいただいた。その中で3年程度の計画を立てて地域振興を進めるようにということで、それに基づき博物館で事業を進めてきた。

今年度が3年目にあたり引き続き地域振興について協議をお願いしたい。

今後の館の運営のため各博物館の現状を知ってもらい全般的でなくそれぞれテーマを絞って状況を把握し状況を分析し報告のうえ、ご意見等をいただき進め、文化財課でも様々な意見等を検討のうえ生かしていきたいと考えている。

<議長・副議長選出>

議長 明石委員，副議長 鵜澤・大澤委員を選出

<平成22年度各博物館の事業について>

今年度の事業について美術館・博物館長より報告

<議 事> 一括説明

(1) 平成22年度各博物館の地域振興について

学芸・普及部会座長より今までの経緯を説明

今年度の地域振興の取組について、美術館・博物館担当者より説明

(2) 各博物館の入館者動向について

過去5年間の入館者動向について、担当者より説明

<質 疑・意 見>

委 員

博物館の評価の一つは入場者である。似たような事業をやっていると入館者は横ばい状況になる。新しい博物館の評価の必要性を考えたとき、県民の中に納税意識が高まっていることが視点として重要である。博物館がどんなことをやっているのかが、県民に見えていないのではないか。予算規模、職員の採用や退職、数年の財政状況等、開示できる情報は極力県民に知らせることで、逆に県立博物館への理解が広まるのではないか。

情報を開示することにより様々な形で情報が伝わる。企画展に関しても、何故今開催するのかを懇切丁寧にわかりやすく解説することにより、おもしろい情報として、インターネット・SNS等で取り上げてくれ、瞬く間に伝わっていく。様々な情報メディアを活用すべきであるが、そのためには、博物館の情報をもっと開示すべきである。

委 員

今年千葉国体が開催され、全国から来るが、この人たちに対して試合終了後来館してもらうためポスター、チラシ等集客に関してどう考えているのか。

有料化後の有料者数の割合は。予算的にどれだけの収入になっているのか、もう一度無料化する努力をすべきではないか。昨今年収格差が大きくなっている。親が子供を連れて行きやすいようにするためにもう一度考え直してもいいのではないか。

文化財課

国体については、国体局において関係者向け冊子を作成。その中に博物館の無料チケットを添付し配布する。博物館に関しては、開会式当日会場においてブースを設置し、自然、歴史等を紹介する。また体験コーナーも行う。

入館料については、博物館事業に当てている。有料化は県財政全体の中で、適正な受益者負担である。現在の財政状況では、博物館活動の充実のため少しでも収入を上げたい。

委 員

博物館の事業は、館の職員の企画なのか。魅力的な事業とそうでない事業の差がついているのでは。利用者側にアピールできるようなものでないと博物館には行かない。

博物館

基本的には、職員が中心に事業展開を行っている。館外のアドバイザー等に意見をもらい参考にし事業展開を行っている。

委員

人事の刷新について、博物館の職員採用についての状況は。

博物館

県での新規採用はないが、新たな事業展開をできるように人事交流等で工夫を行っている。

文化財課

ここ十数年新規採用はない。県全体としても新規採用者数は少ない。学芸員の新規採用を要求している状況である。昨年度より美術館で教員からの公募を始め、1名採用した。美術、理科等の専門分野では、教員との交流を実施していく。新規採用については、技術等の継続の面からも要望をしていく。

委員

県内の高校生は学校単位での利用はあるのか。また小学校の学校単位の利用はあるのか。以前より学校単位での利用をと要望を出しているのだが、一般の方に対してのPRも大事であるが、学校に対してのPRは。教育の一環として博物館を利用すればいいのだが。

博物館

学校単位の利用には、授業の一環として利用できるように、子供たちが学んでいる内容に関連性をつけるように考えている。学習指導要領との位置づけをしているところであり、さらに充実していきたい。

博物館の企画については、学芸員は、工夫して素晴らしいものを作っているが、事業の中には、テーマが不明でわかりにくい面もあることから、より優しくわかりやすい方法で発信を行っていきたい。

委員

授業に役立つ博物館プロジェクトというのがあるが、授業との連携は、そのプロジェクトを行っていけば、授業の一環として利用できることを提示すれば学校の方でも対応しやすいのではないか。

委員

集客問題については、各博物館の課題になっているが各地域におけるPRについて、地元地域の施設・ホテル等に一層の働きかけをすることにより地域外の方々がその地域の特色を知りたい場所というのは博物館が本来その機能を持っている場所ではないか。その博物館が今何をやっているのか、どういうものを持っているのかがわからないのはPR不足ではないか。地域の特色を生かした施設を利用できるようなPRをして有効活用できるようにすることが必要である。

委員

以前Bay-FMで美術館の情報が流れていたが、近くにいたらよって見たくなった。もう少し地域の放送局を利用をした方がいいのではないか。

文化財課

NHK-FMのひるどき情報千葉では、各博物館職員が生放送で出演し紹介をしている。Bay-FMについては、今後も活用できるようにしたい。千葉テレビについては、情報提供し放送を行っている。

委員

千葉県をみると南北問題が存在するのではないか。南北格差の解消のためには、南房地区の文化支援、博物館支援をどうやって実現するかが、千葉県全体の行政の課題ではないか。文化においても南北格差がある。

美術館・博物館には大衆文化を低く見る傾向があり、たとえば美術館では、学芸員は一般の人たちの作品を展示するギャラリーにはあまり関わらなかったが、これからは関わってもいいのではないか。

ミュージアムの本来の機能は、物を守ることが使命の一つである。それとは別に人を中心とした鑑賞支援、人間を中心とした博物館学を再構築しないと状況は厳しいのではないか。千葉県における地理・文化を含んだ南北問題をどうやって解消していくかが博物館に求められている課題だと思われる。

委員

房総のむらが指定管理者になっているが、行革の見直しの第一段階のようだが、その後については。房総のむらだけが二重構造のようになっている。博物館行政の今後のあり方が今後の課題になる。今の形は、指定管理者と県の直営の館という中途半端ではないか。

委 員

学校単位では博物館へ行かないということだが、現代産業科学館一つの例では、市川工業高校の生徒が講演に来て、レポートを出した場合は単位がもらえる仕組みになっている。今年も多くの生徒が参加していた。そういう取組も一つでないか。

委 員

地域、NPO、ボランティアとの連携をより進めるためには、専任窓口がないと市民は誰に相談すればいいのかわからない状況である。窓口を一元化し、地域のこととかボランティアのことを受けてくれる専従まではいかなくとも専門職員を配置してもらいたい。

委 員

入館者数はわかったが、県の10万人単位に直すと何パーセントになるのか。

博物館とか図書館の入館者数の10万人単位の入館者数があれば、県単位の比較ができる。図書館では、10万人単位の利用率が出ているので、博物館も出してほしい。今後、博物館単体の数字でなく千葉県全体の620万人の子供たちの力がどう博物館に貢献するのか数値をみるために10万人単位の数値がわかりやすい。これだけ博物館のある県は少ないのでその良さを生かすために教育委員会全体で10万人単位のデータを出して行ってほしい。

閉 会